

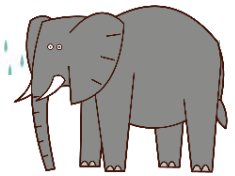


令和4年6月号 Vol.55
情報メディア教育センター



ありふれた日々

ゾウが来たー！



1408年6月22日、南蛮船が現在のインドネシア・スマトラ島から福井県小浜市に到着、日本に初めてゾウが上陸しました。ゾウは將軍足利義持に献上されました。小浜市甲ケ崎にはゾウをつないだとされる岩が残っているそうです。ゾウはおろか外国人も初めて見たであろう当時の人々は、どんな気持ちで行列を見ていたのかな。

むかしばなしから音読を考える

架けた橋が何度も流されてしまう。村の人々に頼まれた大工は、この川に橋を架けることを引き受けた。岸边で思案する大工の前に、川の中から大きな鬼が現れる。「おれがおまえにかわって、そのはしかけてやってもええぞ」。鬼はたった2日で橋を架け、その代わりに目だまをよこせと大工に迫る。その場を逃れようとする大工に、鬼は「そんなら、おれのなまえをあてればゆるしてやってもええぞ」。さあ大工はどうするのか・・・『だいくとおにろく』という絵本がある。岩手県に伝わる民話を児童文学者の松居直さんが再話したもので、初版は1962年。小さい頃読んでもらったという人もいるかも。

このお話、息子も3歳ころから2年以上のモストフェイバリット。この本の何がそこまで彼の心をつかむのか疑問だったのだが、最近、謎が解けた。ある日、書店で複数の昔ばなしが載っている幼児向けの本に『だいくとおにろく』が収められていた。しかし、ただのあらすじ紹介になっている。

これ、あかんやん！あの絵本の魅力は、音読すると、思わず、「まんが日本昔ばなし」の市原悦子さんをまねしているようなあの文章だと気づく。（おまえのなまえは）「ごんごろうだな」「うんにゃ、ちがう」「だいたろうだっ」「うんにゃ、ちがうちがう」・・・きっと淡々と読んでも、方言や言い回しによって生み出される言葉のリズムが息子の心に刺さったに違いない。



そういえば、明治初期までは大人も音読していたらしい。威厳ある紳士が堂々とした声で「し、ろ、い、は、な、が、さ、く」とやる。もちろん実際にはそこまでたどたどしくないだろうが、現代を生きる者にとって初めて目にしたテキストを澁みなく音読することは意外と難しい。江戸時代の人はどうだったんだろう。

また、この頃誕生した図書館が館内では「音読禁止」にすることを求めたのが、黙読の普及の一因になったとか。これが「図書館」＝「静か」というイメージのはじまりになった。

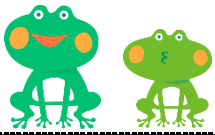
ちなみに、大工はふとした折に鬼のなまえを聞き、みごと言い当てて難を逃れましたとさ。

(津田)

参考文献

松居直再話；赤羽末吉画 『だいくとおにろく』. 福音館書店, 1962,

「音読から黙読へ—近代読者の成立」 <http://www.diced.jp/~genbun/event/pdf/2002kouen.pdf>



新着図書ピックアップ



『建築家になりたい君へ』

隈 研吾【著】

国内外で活躍の建築家(2020年東京オリンピック・パラリンピックの主会場の国立競技場、石の美術館、サントリー美術館等)の著書で、今年の読書感想文の高校部門の推薦図書です。10歳で建築に目覚めたとありますが、幼少の頃から動物やアフリカ、詩や音楽など様々なことに興味があり、建築家を目指す人にも「広く興味をもって、広く勉強して」と伝えているそうです。また“「建築を作る」という最大の罪”と表現されています。建物が建つと視界を遮ったり風の流れが変わること、木の伐採やセメントのCO2排出もある罪の意識を感じつつ、それ以上の人間の幸せ度への貢献を信じて建築を続けているそうで、視界の広さや思慮深さが、著者の魅力の一つだと感じました。(大原)



『母親になって後悔してる』

オルナ・ドーナト【著】、鹿田昌美【訳】



母親になって後悔している23人の女性に長時間にわたるインタビューを行い、伝統的価値観や社会通念と照らし合わせて丁寧に検証しながら、彼女たちの肉声を届けたのが本書である。もちろん本文においても、後悔の対象は母になったことであり、子どもではないと強調されている。まさに帯のとおり「子どもを愛している。それでも母でない人生を想う」である。著者は「私は子どもを持たない」と決意した社会学者であり、全ての女性が母親になりたいはずだという社会的期待と、母になることを価値ある経験とする評価に疑問を呈すべく、学術的な活動を続けてきた。おかん以前のおかんの人生なんて考えたことなかったというあなたへ。(津田)

『生命知能と人工知能—AI時代の脳の使い方・育て方』

高橋 宏知【著】

人間(生命知能)とAI(人工知能)の違いってなんだろう。AIがいつか人間を支配してしまう日がくるのか。本書はこんな疑問に「自律化」と「自動化」という言葉の対比で説明している。すなわち生命知能には「自律性」があり、自らルールを作ることができる。一方AIはプログラムすれば人間以上の事を効率よくできるが、それは生産性向上のためのあくまで「自動化の技術」であると。さらに学校の勉強に例えて、高校までは今後の研究などに必要な基礎知識をしっかり頭に入れる必要があるため、獲得すべき知識や技術を「人工知能」的な考えで効率よく学習する。それをベースに大学、大学院、社会でより多様な研究に取り組んで「生命知能」をフル活用するのだと。中学、高校のとき「こんな勉強何の役に立つの?」と思ったことがあるが…納得しました。(大塚)



新着ピックアップは毎月、司書が「これはぜひ読んで!」と思う本を選びすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。



＼50回☆おめでとう！／

他人の読んでいる本が気に入るようになってきた

藤崎一臣の本、読んでいこう！ vol.50

『面白いほどよくわかる！他人の心理学』 渋谷 昌三【著】



6月の開館予定

6月		
1 水	8:10-17:50	
2 木	8:10-17:50	
3 金	8:10-17:50	
4 土	休館	
5 日	休館	
6 月	休館/蔵書点検	
7 火	休館/蔵書点検	
8 水	休館/蔵書点検	
9 木	休館/蔵書点検	
10 金	休館/蔵書点検	
11 土	休館	
12 日	休館	
13 月	8:10-17:50	
14 火	8:10-17:50	
15 水	8:10-17:50	
16 木	8:10-17:50	
17 金	8:10-17:50	
18 土	休館	
19 日	休館	
20 月	8:10-18:50	
21 火	8:10-18:50	
22 水	8:10-18:50	
23 木	8:10-18:50	
24 金	8:10-18:50	
25 土	休館	
26 日	休館	
27 月	8:10-18:50	
28 火	8:10-18:50	
29 水	8:10-18:50	
30 木	8:10-18:50	

そろそろ梅雨入りといった頃でしょうか。

ジメジメ、ムシムシと天パの私にとって1年で最も嫌な時期が近づいてきました。(;∇;)

この時期になると、湿気の影響をモロに受けて髪の毛が言うことを聞きません(ノド)。。。実は、日本人の70%から80%が天パらしいです。私のような同じ悩みを抱える方多いのではないのでしょうか。これといって対策はなく、例年防戦一方の私に何か良い製品やメンテナンス方法があれば教えてください…(ノド)。。。

さて、今回紹介する本は、だいぶ前のEMCニュースレターで紹介した『自分の心理学』の関連作品である『他人の心理学』になります。前回、自分のコトについてある程度理解したので、次は他人のコトについて知ろうといった次第です。相手が今、何を考えているのか、どうしてこういう仕草や行動をするのか、などといった他人の心理を知りたくなることがみなさんにもあるかと思います。ドラえもんが存在すれば、不思議なポケットから道具が出てきて叶えてくれますが、そんなワケにはいかないのが現実です。

でも、目に見える行動から推測される心の動きを研究する心理学。この心理学を学ぶことにより、相手の心をすべて把握するとはいきませんが、相手の仕草や行動を見て、そこに隠された心を推測し、行動することができるようになれば、あらゆる人間関係を良好に築くことができるようになるかもしれません。

本書は、イラストを交え読みやすい構成になっています。心理学に興味のある方には最初の1冊にちょうど良いと思います。最後に本書より外見からわかる心理をご紹介します♪会話の中で相手が「髪を触る」仕草に対し心理学的にどのような意味があるか知っていますか？

A：好意がある、B：のどが渇いた、C：話を終わらせたい

私はどこかのサイトで「好意がある人は会話中に髪の毛を触る」というのを見たことがあるので、迷わずAを選択＼(^o^)/。

答えは「相手の話をやめさせたいというサインでもある場合もある。」だそうです。

えっ…(°Д°) えっ…(ノド)。。。Aじゃないの？Cなの…(;∇;)

これまで、話し相手が髪の毛を触る度に心の中で「よしっ！」と手ごたえを感じていた私って、いったい…。 『面白いほどよくわかる 他人の心理学』



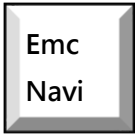
第47回 阪本 純 先生おすすめ

『特攻 一戦争と日本人』

栗原俊雄【著】

みなさんは「特攻」って知っていますか？様々な兵器を使って敵艦に自ら体当たりしていく作戦のことです。この作戦で何千という10代・20代の若者が命を落としました。この本では、なぜ特攻が始まったのか、作戦内容、当時の軍人たちの話などが詳細にまとめられています。美談ではない本当の特攻の姿を知ることができる作品だと思います。この本を読んで、改めて戦争の悲惨さだけでなく、「平和」の有り難さを感じました。

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンほどなたに渡るかな？



講演会「三重人に訊こう」

三重県で活躍する様々な人の活動や体験談を通して、その魅力や価値観を学ぼう。

第1回 あの超有名なお菓子だけじゃないあの会社・・・実は三重県なんです。

株式会社マस्याグループ本社 代表取締役社長 浜田 吉司 氏



とき 2022年6月15日(水) 16:30~18:00
ところ 情報メディア教育センター (EMC) LCホール



参加申込方法 -----

EMCカウンターまたはQRコード (Google フォーム) で申し込みをしてください。

申し込みをしていなくても、席に余裕があれば当日参加可能です。みなさんの参加をお待ちしております。



いろいろ考えちゃうよね。 だって高校生だもの (中学生も)



あれこれ考えちゃうお年頃。高校生って毎日大変ですねー、もちろん中学生もね。そんなみなさんへちょっとは役に立ちそうな本を集めてみました。読めばスッキリ吹っ飛ばすことまちがいなし。



自分ってどんな人？

誰も教えてくれないから、自分のことちょっと調べてみよう。自分を再確認、そして意外な自分を発見するきっかけになるかも。



人は誕生日で運命が方向づけられているらしい



友だち関係ってめんどくさい？

あれこれ気にしてしまう人との関係。でも言うほど向こうはこっちのこと気にしていないのかも。

SNS、人間関係のモヤモヤ。漫画で読んでスッキリ解決



人生ってどうなの？

大人になるのは案外はやい。いろいろある世の中だけどぶれない生き方が最強なのかも。



ガネーシャの教えで僕は変わる！



図書館からのお知らせ

- 6/6 (月) ~6/10 (金) まで蔵書点検を実施します。完全閉館 (立入禁止) です。ご注意ください。

編集後記『本好き〜』『都会トム』から『タレーラン』『ピブリア』までみんなに大人気のシリーズ小説展示中。つづいていくのには理由がある？ (大塚)

第1巻 読めばキミも愛読者

